

第26回 滝川市環境市民委員会の開催結果について

開催日時	平成22年12月18日(土) 午後4時00分～午後5時30分
開催場所	滝川市役所10階第二理事者控室
出席状況	【委員】 出席：岩本委員長、石井副委員長、小野委員、奥村委員、加藤委員、中村委員、水戸委員、伊藤委員、木村委員 欠席：久保田委員 【滝川市】 市民生活部 西村部長、伊藤次長 〃 暮らし支援課 深瀬課長、橋本主査
議事内容	1 開会 2 評価報告書の提出に向けて これまで出された意見を受けて、とりまとめた評価報告書案（資料2）について事務局から説明。これに対して次のような意見があった。 ・H21年度に対する評価の第2項目で、「家庭での電力消費量の削減が頭打ちの状況であり」とあるが、これはあくまで21年度の省エネモニター世帯の傾向を記述したものであるが、滝川市全体の傾向ととれるような書き方になっているので、誤解を招かないよう記述修正すべき。 →記述を修正することとする。 3 基本計画の見直しに関する意見交換 改めて、基本計画の内容についておさらいするとともに、資料3をもとに18年度から21年度までの取組経過について事務局から説明。また、これまでの議論から、今後の計画推進手法及び評価手法の見直しについて資料4をもとに事務局から説明。これに対して次のような意見があった。 ・計画のなかの各物語のあらすじと資料3でのこれまでの経過をみてきたが、具体的な成果というものがなかなかイメージできない。それは例えば誰がやるのかという現場の形が見えてこないからではないかと思う。提言案にも各団体との連携構築のあり方について触れられているが、行政だけではカバーできない部分を、そういった団体等の動きとうまく連携することでより具体的な実現案がみえてくるのではないかと。また、役所内での各関係所管の連携強化も必要になるのではないかと。 ・あらすじの実現に向けて委員会として翌年度はこういった事業を行った方が良いとか一緒に考えていくようなプロセスを今後の委員会の役割として取り入れていくことは評価できる。あまり物語あらすじの細かな字句にこだわるのではなく、この方向性に近づけていくために、こういうことをやっていってはどうかというような提案をしていただければいいのではないかと。また、その検討時期は予算策定の前に間に合うように、スケジュール管理をしっかりとしてほしい。 ・他の行政の計画だと、計画に書いた以上、必ずやらなければならないということとで無難な内容に終始していることが多いが、この計画の良さとして、かなり大胆

に書いている部分もあり、このあたりをどこまで修正するかは難しいところではある。

- ・これまでの計画ではそもそも年度計画がなかったので、委員会としても何を評価して良いかわからなかったのも、今後、そのあたりが見えてくればすっきりしてくるのではないかと。当該年度の評価も、その年度、頑張ったのか頑張っていないのかがわかりやすくなる。
- ・年次報告書についても、本来であれば前年度の評価と翌年度の計画が入っていないといけない。
- ・そもそもなぜ、環境に取り組むのかという部分でそのあたりの教育だとか知識の普及なり人材育成については、今後も教育委員会との連携を図りながら、もっと進めていくべきである。この計画での人の環づくりは大切なポイントだと思う。

※「計画見直しに関する意見集約シート」を配付しているので、この場では出せなかった意見等について、持ち帰り検討して、あれば提出していただくこととした。

4 その他

事務局から

- ・評価報告書については、次回委員会での提出に向けて、この後、今日出た意見等をもとに、若干の修正を行い、委員長及び副委員長に内容確認をしていただくことで最終案とすることで了解をいただきたい。
- 了承

5 閉会